

緊急提言（案）の骨子

一 提言の趣旨

- ・ 成田空港は、世界各地にバランス良く国際航空ネットワークを持ち、世界有数のゲートウェイ空港としての地位を確立
- ・ 発着枠の 22 万回への拡大、成田スカイアクセスの開通等現在でも着実に進化し続けており、発着回数 30 万回に向けても取り組み
- ・ 一方、アジア諸国では大規模国際空港の整備が相次ぎ、10 月には羽田空港の発着容量の拡大が実現する中で、成田空港の更なる国際競争力の強化、空港を活用した県経済の活性化を行うことが重要
- ・ この提言は、中間とりまとめに先立ち、緊急的に取り組むべき施策としてとりまとめたもので、早急な具体化を期待

二 緊急的に取り組むべき施策

提言 1 官民一体となった成田空港のPRの強化

- ・ 早急に官民の関係者が一体となった広報戦略組織を立ち上げ、各関係者が連携した取り組みを行うべき
- ・ その際には、森田千葉県知事のマスメディアへの発信力を活かし、テレビやラジオ出演等のあらゆる機会をとらえて空港の魅力をPRすることを検討すべき
- ・ また、企業に対して空港の利用促進を促すため積極的にPRし、ビジネス需要も取り込むことも重要。

など

提言 2 成田空港と地方都市を結ぶ国内フィーダー路線のPR・充実

- ・ 成田の国内線の周知・利用促進を図るためのPRを実施すべき
- ・ 例えば、本年秋に開催される千葉国体・千葉大会に合わせ、選手団の国内線の利用促進やふるさと応援ツアーの企画等を検討すべき
- ・ 未就航都市への展開や多頻度化といった国内フィーダー路線の充実により、地方からの乗り継ぎ需要に対応すべき

など

提言 3 空港利用者に対する「おもてなし」機能の向上

- ・ CIQについては施設面の改善や人員増員を図るべき
- ・ 日暮里から成田空港まで最短 36 分で繋がれることを契機に、エレベータのスピードアップ等施設面の改良を含めた取り組みなどにより更なる移動のスムーズ化に向けた検討が必要
- ・ 外国人が気軽に公共交通機関に乗り降りができるよう案内サービスを充実するとともに、電子マネーによるICカード型対応を拡充する等環境を整備促進すべき

など

提言 4 空港を活用した観光の活性化

- ・ 海外から県内観光に人を呼び込むために、観光の商談会に積極的に参加し、千葉の観光地・魅力を売り込むべき
- ・ 積極的な国際会議の誘致も図るべき
- ・ 県内観光をPRする手法として、観光パンフレットを作成し、飛行機の座席に備え付け、4ヶ国語でのPRをすることも考えられる

など

中間とりまとめに向けて

6 月に予定している議論の中間とりまとめに向け、中長期的な視点から、成田空港を活かした経済活性化策などについて、更に議論を深めていくことが必要